

共架申込－注意事項

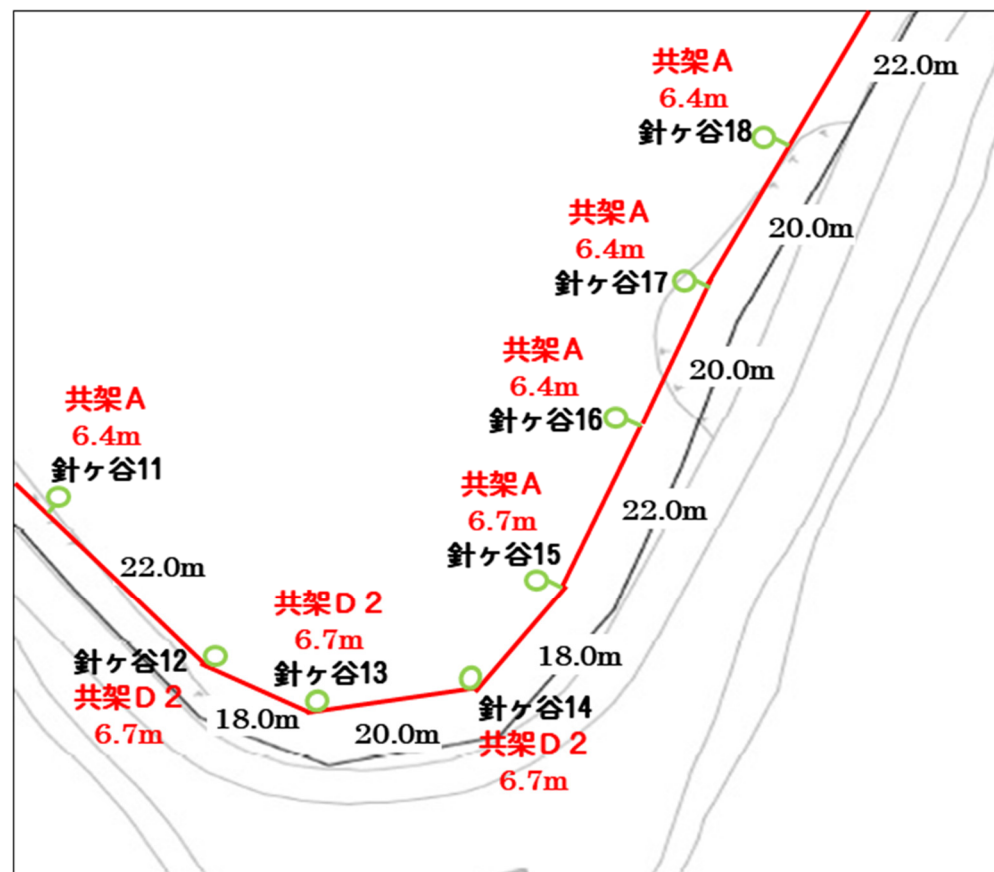
ルート図の作成

◆ご提出いただくルート図の記載について

＜ルート図作成においてのお願い事項＞

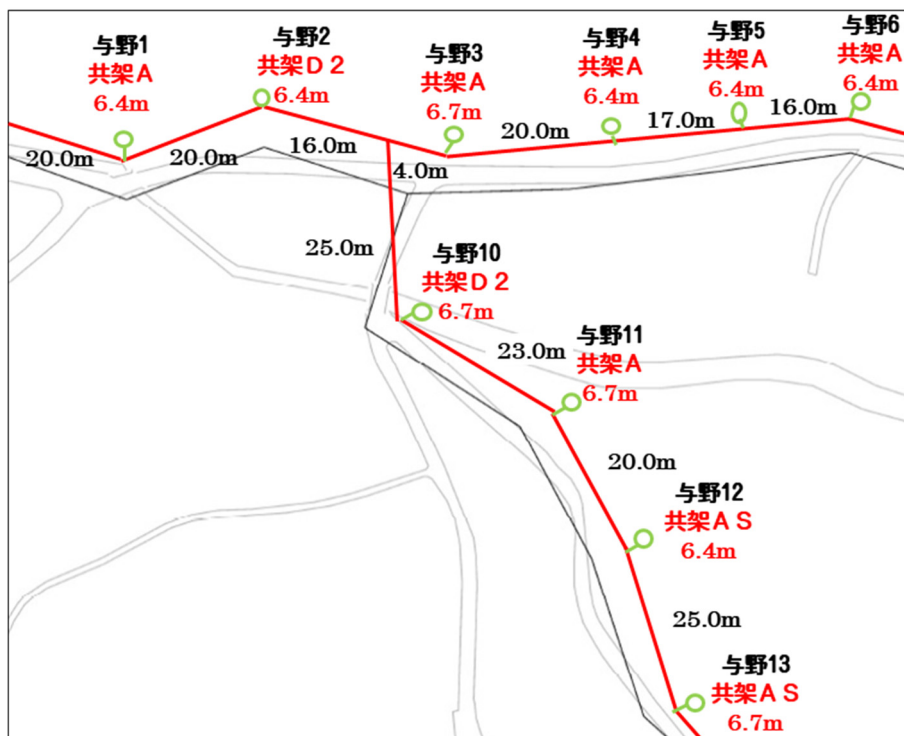
- ①新規共架対象ルートを赤色で記載ください。
- ②電柱間の距離を記載ください。
- ③共架腕金（バンド）種別を余白に記載ください。

（分岐が無い場合）



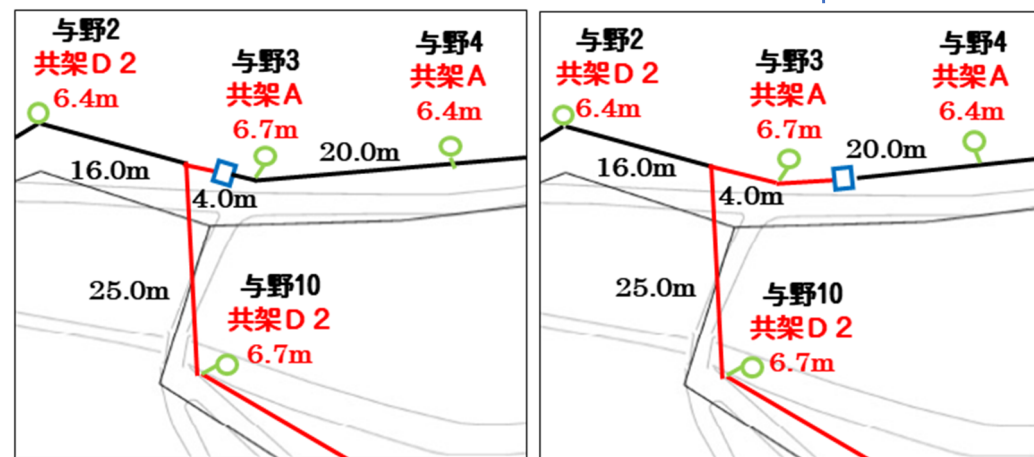
◆ご提出いただくルート図の記載について

(分岐がある場合)



(クロージャールがある場合)

電柱に対して**どの位置に取り付けるのか**が分かるようにご記載ください。

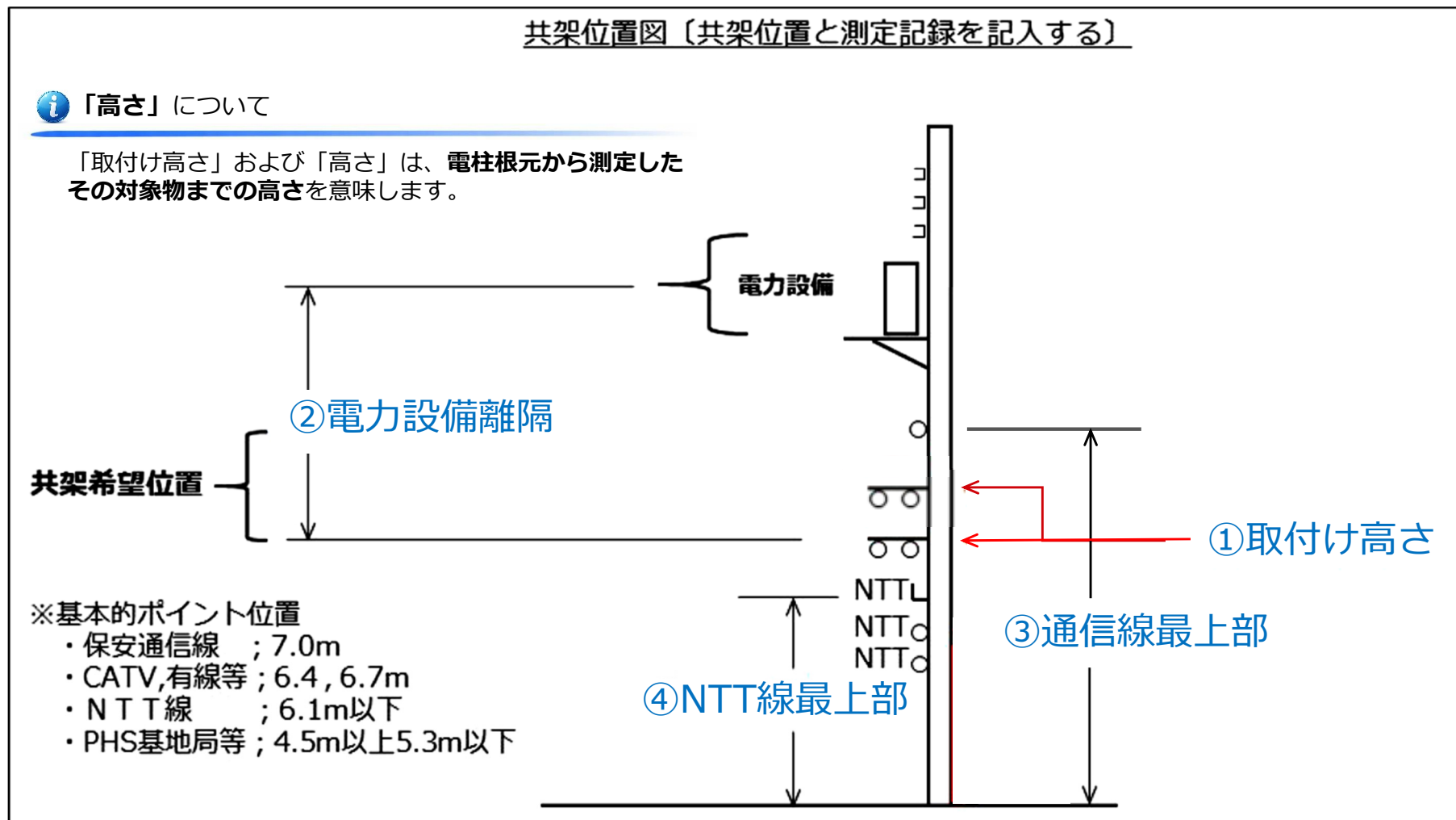


共架申込－注意事項

地上高の測り方

◆高さ（地上高）に関するKOSMSへの入力項目の位置

- ①取付け高さ ②電力設備離隔 ③通信線最上部 ④NTT線最上部



◆地上高の測定位置について

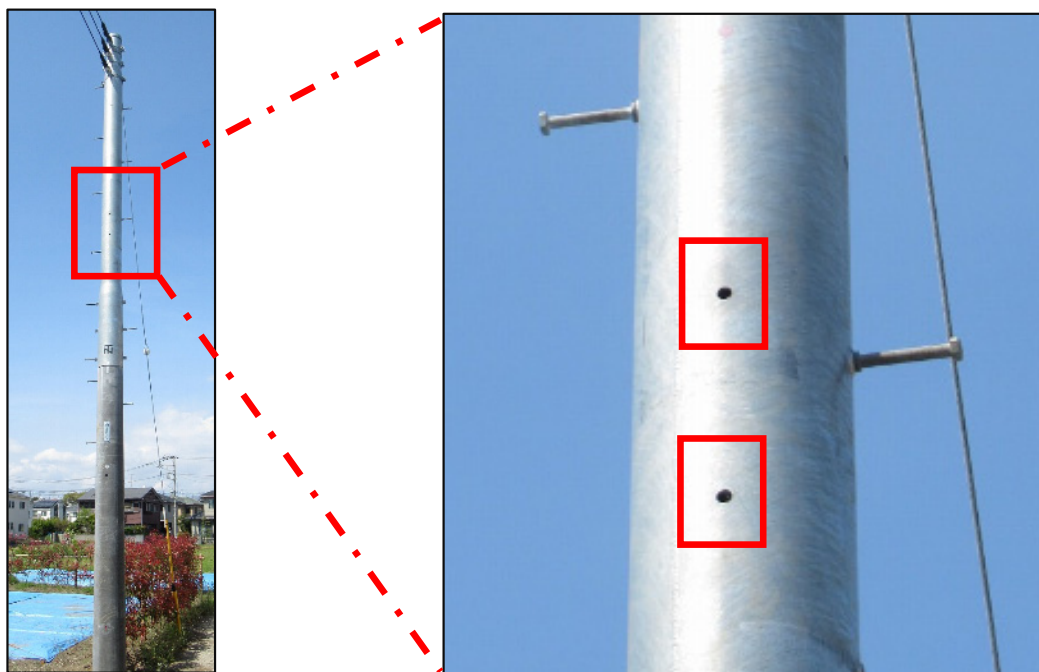
- ①測定用機材は「**地際 ※1**」に合わせて測定する。
- ②対象の共架物が確認できるように「**目印 ※2**」をつける。

※1：電柱が地面と接している部分

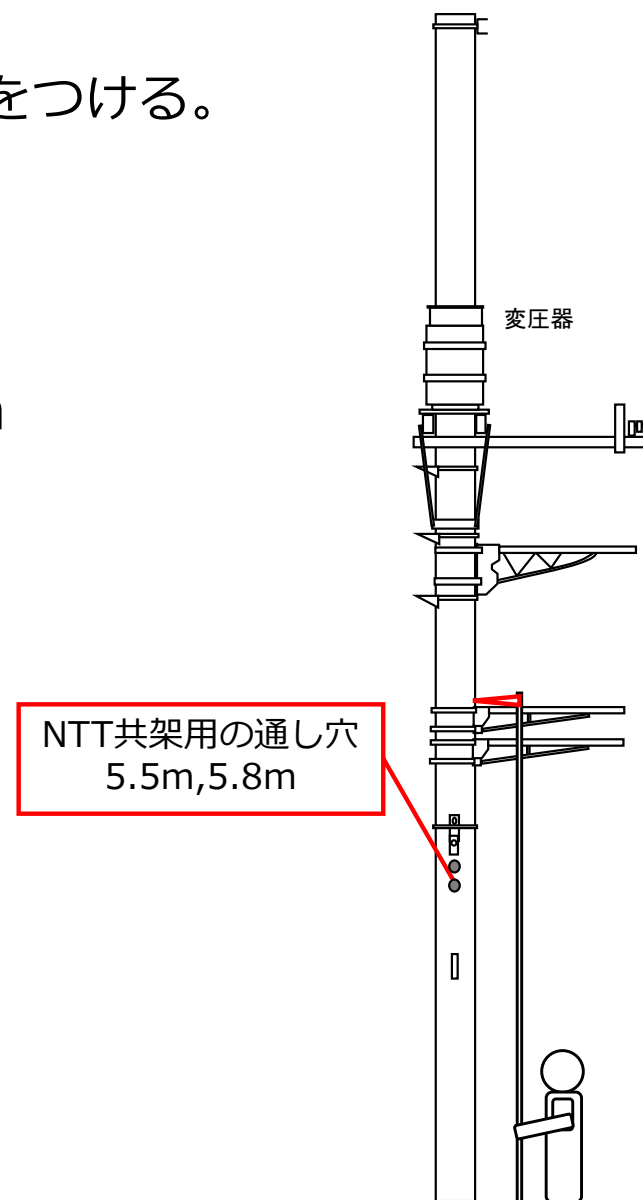
※2：線や矢印等のマークで示す

◆地上高の目安〔例:分割式複合柱の場合〕

- ①NTT共架用の通し穴 ……………地上高 5.5m,5.8m

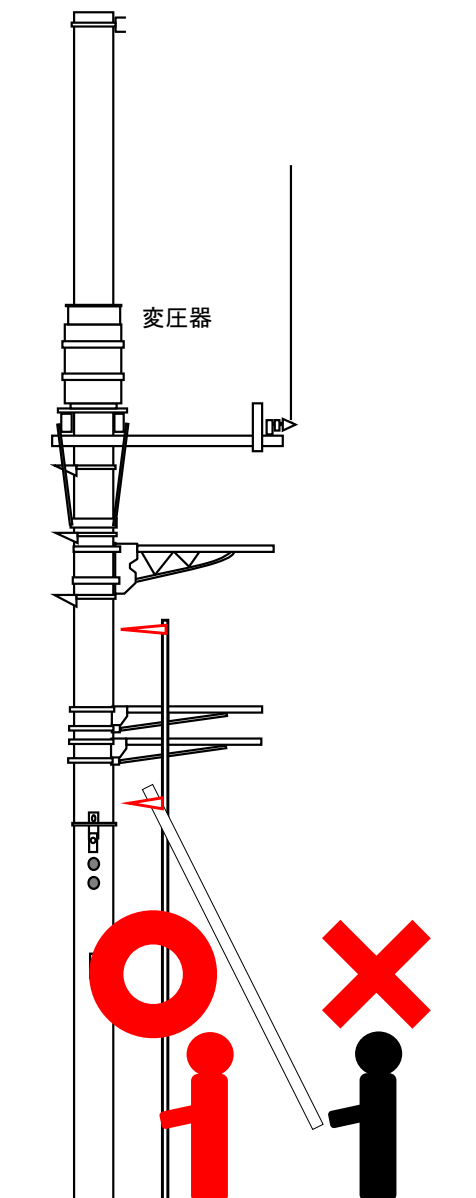


＜地上高の目安＞



◆測定路面と地際が**同じ**位置の場合の注意点

- ①測定用機材が「**地際**」を基準にしているか確認する。
- ②測定用機材が「**傾いていない**」か確認する。

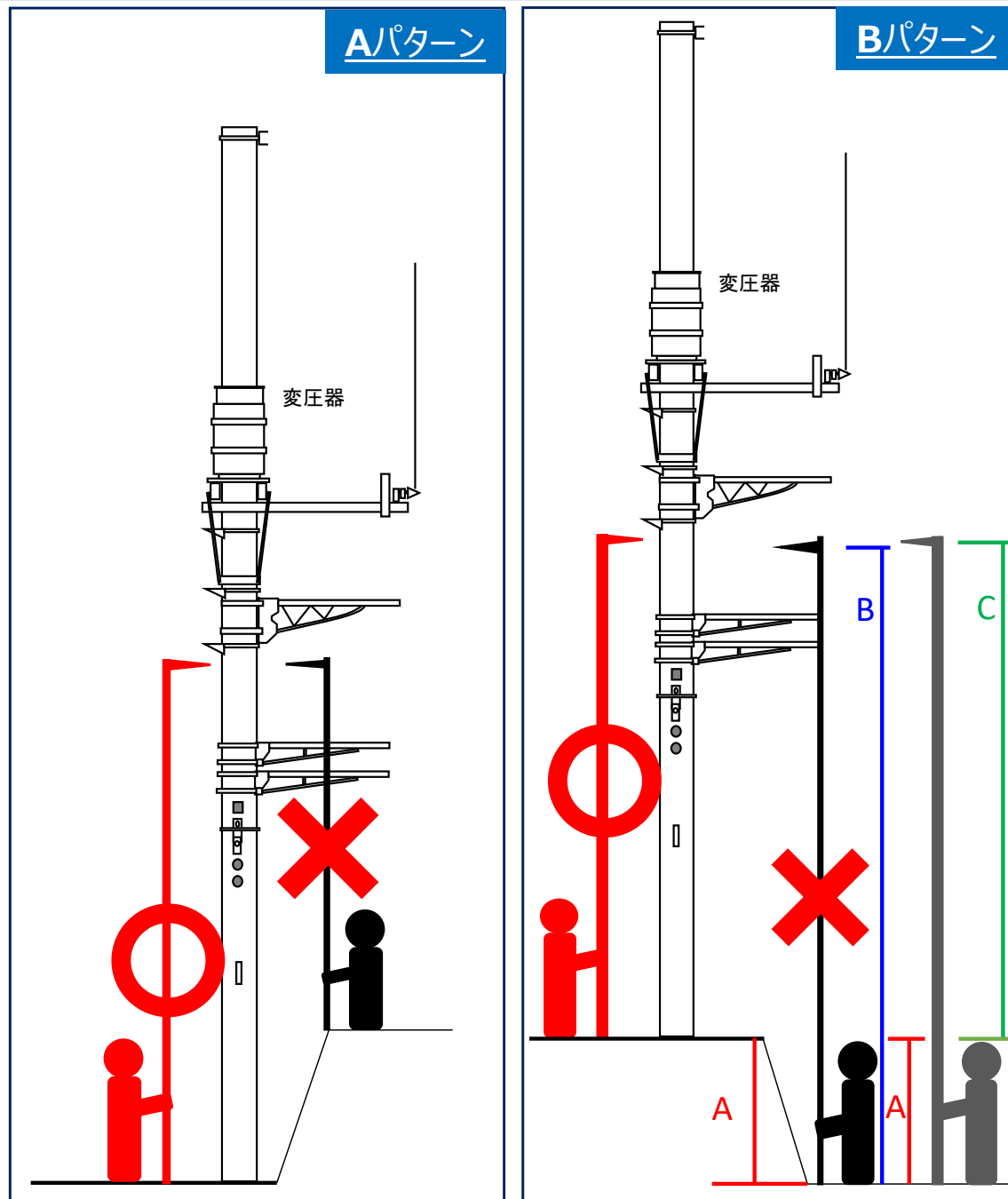


◆測定路面と地際が異なる位置の場合の注意点

- ①測定用機材が「**地際**」を基準にしているか確認する。
- ②測定用機材が「**傾いていない**」か確認する。
- ③電柱設置位置の状況により、「**地際**」で測定が不可能な場合、地際と測定路面高さの差分を測定する。 ※3

※3：右記Bパターンの右(グレーの人型)の場合

測定路面からの地上高(B)
 - 地際までの地上高(A)
 = 正確な地上高(C)

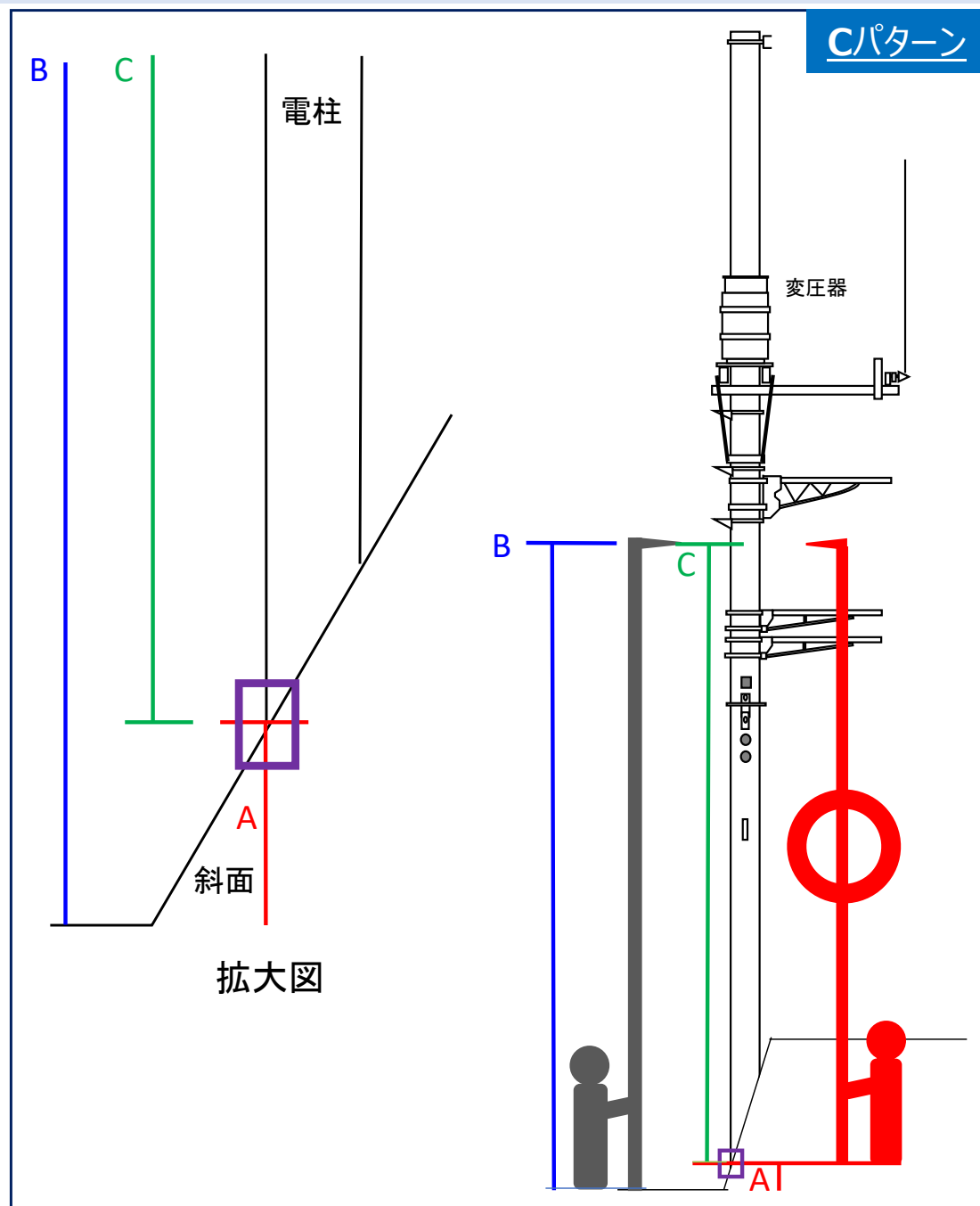


◆電柱が傾斜地に設置されている場合の注意点

- ①測定用機材が「**電柱設置斜面下端** (右図□部分)」を基準にしているか確認する。
- ②測定用機材が「**傾いていない**」か確認する。
- ③電柱設置位置の状況により、「**電柱設置斜面下端**」で測定が不可能であった場合は、斜面下端と設置斜面下端の高さの差分を測定する。※4

※4：右記Cパターン右(グレーの人型)の場合

測定路面からの地上高(B)
- 地際下端までの地上高(A)
= 正確な地上高(C)



共架申込－注意事項

写真撮影

◆撮影する写真について

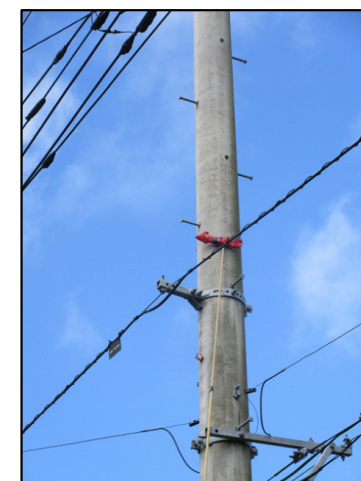
- ① 共架設備が立体的に分かるように斜め方向から撮影する。
 - ↳ どんな設備が、どのように共架されているかが分かるように撮影する。
- ② 当該電柱の「**全景**」を撮影する。
- ③ 共架設備を「**拡大**」して撮影する。
 - ↳ 全景写真を使用して拡大写真を作成すると不鮮明になるため、全景写真とは別に撮影する。

<良い例>

②



③



◆写真撮影の注意点について

- ・撮影した写真が「**逆光**」にならないように撮影する。
- ・撮影した写真が「**ぼやけない**」ように撮影する。
- ・全景写真、拡大写真は「**同じ位置**」から撮影する。
↳撮影位置が異なっていた場合、写真から共架設備が判断しにくいいため、拡大写真は全景写真と同じ位置からカメラのズーム機能を使用して撮影する。
- ・**電柱の真下・真横**から撮影を行わない。
↳そのような撮影角度の写真からは共架設備が判断しにくいいため。

<悪い例>

× 逆光になっている

× ぼやけている



◆新規の共架設備位置について

- ・写真内に「**赤色の線もしくは矢印等のマーク**」を明記する。
- ・新たに共架腕金の取付けを希望する場合についても写真内に「**矢印等のマーク**」を明記する。